

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 ヤマカまなびパーク4F TEL 0572-23-3455 FAX 0572-26-8813

指導日誌より

= 土岐地区 =

・ 小学校の下校に合わせて声かけを行なった。雨降りであったが、楽しい会話も聞こえてきた。(5/10 鶴里 4)

・ 女子中学生 5 人が学校の帰り道にコンビニに寄っていたので、帰宅するように指導した。(5/12 妻木 3)

・ 三起屋のゲームコーナーに中学生男女 5人が親の迎えを待っていた。早く帰るよう指導した。(5/17 土岐津 1)

・ コンビニで保護者と一緒にいた小学生や買い物中の女子高生に声をかけると笑顔であいさつしてくれた。(5/17 駄知 6)

・ おりべの丘にて道路端で遊んでいる小学生たちに「車に気をつけるように」と声かけした。駅前では高校生、中学生に声をかけると、中には自分から挨拶してくれる中学生もいて感心した。(5/17 泉 8)

・ 同一日に他班の活動と重なり駅前で一緒になりましたが、かえって大勢でアピールできたと思いません。(5/18 肥田 7)

・ 泉仲森町の消防倉庫付近に、タバコ、ジュースの

缶など沢山落ちていました。今後はこの場所を班の集合場所にして確認していきたい。三起屋パローさんの情報では、子どもたちがたむろすることなくなり、落ち着いている様子です。(5/18 泉 9)

・ 駅前で高校生男子 1名、女子 2名が身障者用トイレに入って鍵を掛けていた。声をかけたら3名は出てきた。「公共用だ」と注意した。タバコは吸っていなかった。(5/18 特 A)

・ 成人男性と高校生が自転車の二人乗りをしようとしたので注意をすると、素直に従った。(5/19 特 B)

= 多治見地区 =

・ 駅北口の階段下で、高校生男子 4人女子 4人がたまっていた。(5/12 特別班 14)

・ いつものコース、同じ時間帯でしたが、交流センターを利用している子ともあまり会えず、いつもより少ない印象でした。もう少し早い時間にしないと会えないか。(5/18 根本 10)

・ 小中高生ともに最近はにっこり笑顔のあいさつが増えたように感じます。高校生の自転車の危険な運転も減ったように感じています。(5/19 養正 1)

◆◆◆ 5月 声かけ活動の結果 ◆◆◆

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	9	2	9	20
声かけ人数	451	77	205	733
指導員参加者	85	38	43	166

今年度初めての巡回だったので、小学校、児童館にあいさつを行った。学校、公園、児童館で遊んでいる子どもたちは、皆元気よくあいさつを返してくれた。年間、こうであって欲しい。(5/19 脇之島 12)

男子小学生がキックボードに乗り、歩道橋のロープを下り、団地内の車道に飛び出た。道路で乗らないこと、ヘルメットを着用すること、飛び出さないことを指導した。(5/20 滝呂 8)

中学生の姿が多かった。子どもたちは元気なあいさつが返ってくる。スマホで遊んでいる子が多かった。(5/28 北栄 1)

= 瑞浪地区 =

19時からの巡回。4人の学生と出会っただけで他の人と会うことなく終わった。毎回巡回場所を考えながら声かけしていくようにしたい。(5/18 陶 E)

今年度の初回だったこともあり、各巡回地点での注意事項等を説明しながら巡回した。駅では数名の乗降客がいた。(5/19 釜戸 G)

巡回中、通行する人から激励のあいさつが多い。バロー裏 19号地下道はゴミ多く、不法投棄の布団があった。(5/20 瑞浪 A)

ゲンキーの入り口で女子中学生、女子高校生に声かけ。セブンイレブンとゲンキーの店内では、担当者に最近の様子を伺う。高校生アルバイトの爽やかな対応が印象的でした。(5/23 稲津 F)

19時 30分頃、駅前ロータリーで小学生 4人と 2年の兄弟が塾の帰りで親の迎えを待っていた。迎えの車をあちこち探し回り、道路を走って横切っていたので、約束した明るい場所で 2人そろって待つよ

若者よ 選挙に行こう

ひとこと

選挙権年齢が 18 歳以上になり、7月の参議院選挙から実施される。選挙権は国民が行使できる貴重な権利です。初めて経験する高校生を含む若者たちには棄権することなく投票してほしい。

ただ、当の若者たちからは「難しくて分からない。」「自分の 1 票では何も変わらない。」などと言う意見も聞こえてくる。

ちなみに総務省の発表では、平成 24 年 12 月の衆議院選挙の年代別投票率をみると 20 代が 32.6%、30 代が 42.1%で若い世代ほど低くなる。20 代は 60 代の 68.3%の半分以下だった。

確かに若者でなくても「1 票入れたところで・・・」と思いがちで、そう思った挙げ句投票しなければ、組織票を持つ団体が推す候補者が当選し、いよいよ政治は組織に属さない普通の国民から遠いものとなる。

難しくて分からなくても、どの候補が自分の考えにより近いのか考えてみよう。直観でも良い。元々、代表制民主主義の選挙システムとはそういうものだ。はっきりしているのは、ひとりひとりが 1 票を投じることでしか政治は変わらないということ。子どもの 6 人に 1 人が相対的貧困であるとか、20 代前半の非正規労働者割合が 34.2%である社会で良いと思いますか？昨年決った安保法制も若者こそ考えるべき？選挙に行こう。大人も。

う指導した。(5/30 日吉 I)

< センターから > 「新任指導員研修会」を開催しました

6 月 11 日(土)、平成 28 年度新任指導員研修会をバロー文化センター(旧多治見市文化会館)で開催しました。センターからの概要説明や DVD 映像の視聴の後、元多治見地区地区長、齋藤昭政様の講演があり、13 年の指導員経験から声かけの大切さ、巡回することの意味をお話いただきました。新任指導員の皆さんから質問もたくさん出され、今後の参考になったのではないかと思います。

【お詫びして訂正します】

先月多治見地区の方に送付した「声かけ予定表」の班構成で右記の間違がありました。ご迷惑をおかけしました。

	(誤)	(正)
良雪 秀雄 様	8 班	1 班
鈴浦 尚弥 様	12 班	7 班